

て特に注意を向けている。

\*国連教育科学文化機構(UNESCO)の人間と生物圏計画

\*経済協力開発機構(OECD)

気候影響研究を促進するために、国際的スケールのいくつかの組織、研究所、及びプログラムが活動している。これらについては、以下のとおり、

\*欧州共同体委員会(CEC)

\*北大西洋条約機構(NATO)

\*米国/カナダ五大湖影響共同計画

\*北欧環境調査計画

\*国際応用システム分析研究所(IIASA)

## 5. 結果のコミュニケーション

有効な影響評価は、一般に研究者と他の関係集団との間に十分なコミュニケーションが成立しているという特色がある。研究者にとって重要なコミュニケーションの対象は3者、すなわち、他の研究者、政策立案者、一般市民である。

### 5.1 研究者間のコミュニケーション

研究者間での調査結果の伝達と評価に関して、とくに重要な2つの問題が存在する。すなわち:結果の報告とピアレビュー(専門家によるチェック)である。

#### 5.1.1 結果の報告

将来の気候の起こりうる影響に関して、文献は発表されつつある。しかし、結果の報告や使用されたアプローチのいずれも統一化や基準化がほとんど試みられていない。研究とその手法、仮定及び結果が明確であることは重要である。結果の報告のために必要とされる多くの点が以下に示されている。

\*評価の手法が十分詳細に述べられているべきである。

\*シナリオの作成のために用いた気候モデルからの情報は、正しく解釈し、原典から正確に引用すること。

\*研究に関する主な仮定は、概要を述べ、具体化しておく必要がある。

\*影響モデルは、正確に検証し、十分な立証または引用をする。また、他の研究者が結果を容易に再現できるように手に入れやすくすべきである。

\*全ての結果は、関連する不確実性の評価がなされているべきである。

### 5.1.2 ピアレビュー

結果のピアレビューは、発表された研究の質のコントロールを保証するために、欠かすことのできない要素である。専門の批評者による適切な訂正は、非専門家が調査の重要性や質を評価できる唯一の手段である。

多くの主要な科学雑誌は、提出された論文を厳密な評価過程を経て提示する。しかしながら、調査の学際的な性格から専門家の批評が、研究のある要素に対しては提出されないというケースもある。そのため、研究者は、全ての手法とモデルが、適切な専門家の批評過程にさらされるよう保証する責任を負わなければならない。事実、多くの巨大プロジェクトでは独自の批評過程をつくり、専門家たちは最終的な発表の前に、結果に関して正式に批評することを求められる。

## 5.2 政策立案者とのコミュニケーション

気候影響研究の多くが、政策に直面し、政策から明確に定義される問題への解答を追及している。このように、政策立案者と研究者とのコミュニケーションは必要不可欠であり、前者は後者による問題解決を必要とし、後者は前者に重要な問題を警告し、研究資金を要求する。

研究者と政策立案者の間のコミュニケーションにおける主な問題の一つは、対処すべき問題があると意志表示する一方で、将来の算定に付随して考える不確実性を伝達する必要性にせまられることである。さらに、近年の環境問題への関心の盛り上がりは、研究者が結果を直接政策立案者に伝達する(例;行政によるヒアリングを通じて)という要求が急速に増大するという状況をもたらした。政策立案者の目標は多くの場合短期的なので、より一般的な気候変化に関して、早期に経験するおそれのある影響のタイプの概要を、研究結果から表現するのが有利であろう。このような結果は、例えば、直ちに関心を持つ必要の生じたある事象(例;干ばつや沿岸域の洪水)のリスクに関して有益な表現となろう。

## 5.3 一般市民とのコミュニケーション

最後に、多くの場合、政策立案者は一般市民に責任を負っており、世論が政策決定にたいして重要な役割をはたす。したがって、市民に研究の進行に関する情報が十分にゆき渡

っていることが重要である。このため、効果的なコミュニケーションは欠くことができず、コミュニケーションは、部分的には教育を通じて行なわれるが、第一義的にはマスメディアを通じてもたらされる。研究者は、研究内容を一般市民にとって簡明で明確な方法で伝達する責任があり、マスメディアはまた、調査の報告を正確に伝えるということに対して多大な責任を負っている。残念なことに、気候変化とその影響に関しては、よりバランスのとれた観点で表現するというよりは、一部に、最もドラマティックな側面や議論の余地のある点についてのみ報告されるという傾向がみられる。研究者は、このように一般市民に伝えられる素材について慎重にチェックする必要がある。